

登録コード	HS420300	開講年度	2026					
授業題目	古環境科学特論					担当教員	村越 直美	
英文授業名	Clastic Sedimentology and Sedimentary Environments					副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	博士課程
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加							
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					研究課題のレビューを通じて自身の研究目的を探索し,それを表現・論文化することによって他者に説明する.		
(2)詳細/Detailed information	堆積物に記録された堆積環境情報を抽出・復元し,堆積環境を解析する高度な能力を身につける.							
(3)授業の概要/Overview of course	堆積物に記録された堆積環境情報に関する見識を深める講義・実習等を行う.いくつかの事例研究をもとに古環境解析方法を議論する.まず,堆積構造・堆積システムに関する知識と形成過程をレビューする.さらに,それらの解析について,事例研究や実習を通じてスキルアップする.							
(4)授業計画/Course plan	1～3 堆積物の形成プロセスと堆積構造 4～6 堆積物の解析事例研究 7 総合討論							
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	毎回の授業内容に応じて課題を出す.主な内容は, 1) 授業内容の事実のまとめと, 2) 課題に応じて作成した自由レポートである. おもにそれらのレポートの点数に応じて評価する.							
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	提出されたレポートの内容が, S: 課題を十分にこなし,自分の問題意識が明確に表現されている. A: 課題を十分にこなし,自分の問題意識が表現されている. B: 課題をこなし,自分の問題意識が表現されている. C: 課題を一応こなしている.							
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	自分の研究テーマに関する論文を読んでおく.							
(8)履修上の注意/Notes	eALPSコースに概要を載せるので,確認してください. 履修申込み時に各自のe-mailアドレスを知らせてください.nao@shinshu-u.ac.jp宛. 登録された学生に対して開講日時をe-mailで打診し,決定する. 必要に応じてフィールド調査に出ることがあります.							
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	内容を整理して研究室へ来てください.							
(10)授業の形式/Course format	受講学生のレベルと専門分野に応じて相談して決める.							
【教科書/Textbook(s)】	Reineck, H.-E. & Shingh, I.B., 1980, Depositional Sedimentary Environments. 2nd. ed., Springer-Verlag. 543p. Posamentier, H.W. & Walker, R.G., eds., 2006, Facies Models Revisited. SEPM Special Publication 84.							
【参考書/Reference work(s)】	各回に適当なプリント等を配布する.							